

2025 年度 授業コード: 22117000

授業科目	ソーシャルワークの理論と方法（専門） A					実務家教員担当科目	○				
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	笠 修彰										
授業概要	本講では、先ず精神保健医療福祉分野におけるソーシャルワークの概要を説明する。それを踏まえた上で、ソーシャルワークの展開過程や展開技法について説明する。更にソーシャルワークの理念、プロセスや観察、測定や評価を中心に解説し、多職種協働や連携、家族や地域支援についても解説して行く。基本的にはテキストに沿って講義を行うが、可能な限り具体的事例を取り上げながら、精神医療の実際や、精神障害者の社会参加等についての講義を展開する。										
授業形態	対面授業				授業方法	グループワークやディスカッションを取り入れる。					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	①精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を、説明できる。 ②個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえケースを、検討できる。 ③精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、説明できる。 ④精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、説明できる。										
理想的レベル	①精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を、理解した上で説明できる。 ②個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえケースを、理解した上で検討できる。 ③精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、理解した上で説明できる。 ④精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を学び具体的に支援方法を、理解した上で説明できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			65								
小テスト											
レポート			10								
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他			25				授業に臨む姿勢や態度、積極性、参加意欲等				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21305J

学習課題（予習・復習）		1回の目安時間（時間）
講義範囲のテキストの事前及び事後通読		4
授業計画		
第1回	オリエンテーション 授業概要や授業計画等の確認、本科目の学習のポイント ソーシャルワークの構成要素について	
第2回	ソーシャルワークの展開過程について	
第3回	ソーシャルワークの基本的視点 特に精神保健福祉分野を中心に	
第4回	ミクロ・メゾ・マクロにおけるソーシャルワークの展開	
第5回	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法（1） インテーク・アセスメント	
第6回	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法（2） 面接技術・グループワーク・アウトリーチ	
第7回	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法（3） 人や環境へのアプローチ・ケアマネジメント	
第8回	精神保健福祉分野における家族支援	
第9回	精神保健福祉分野における家族の課題 家族理解の変遷	
第10回	精神保健福祉分野における家族支援の方法 実際の事例研究	
第11回	精神保健福祉分野におけるコミュニティワーク	
第12回	精神保健福祉分野における地域包括支援	
第13回	精神保健福祉分野におけるソーシャルアクション 個別支援から地域体制整備	
第14回	精神保健福祉分野における政策提言や政策展開	
第15回	精神障害者の地域移行支援について 総まとめ	
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法〔精神専門〕』中央法規 最新版	
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書・教材等／データベース・雑誌等の紹介 「我が国の精神保健福祉」厚労省障害保健福祉部精神・障害保健課監修最新版 「精神保健福祉白書」中央法規最新版	

課題に対するフィードバックの方法	課題に関しては、次の授業の際にポイントを整理してフィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	精神保健福祉士の国家試験指定科目であることから、精神保健福祉士に関連する講義を既修もしくは履修中であることが望ましい。 より理解を深めていくために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。